

第13回 世界精密鑄造会議

World Conference on Investment Casting WCIC

2012
会期 **4/15 (日) ~ 18 (水)**

会場 **国立京都国際会館
(ICC Kyoto)**

〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
(正式住所: 〒606-0001 京都市左京区岩倉大蔵町422番地)
TEL: 075-705-1234 FAX: 075-705-1100
●市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」4-2出口より徒歩5分

《コンセプト》
「Innovation from Asia」アジアからの革新

今や、世界の鑄造生産量の約6割を担うに至ったアジアは、アメリカ、欧州とともに世界の第3極を形成している。そして、さらに世界の鑄物工場へと大きく発展しつつあるが、同時に量から質への転換期を迎えている。

このような状況下において、今回、「アジアからの革新」をコンセプトにして最先端の鑄造技術である精密鑄造の世界大会World Conference on Investment Casting (WCIC) をアジアで初めて開催し、アジアから世界の精密鑄造業界に対して革新的な情報発信を行う。

スケジュール

月 日	開催時間	イベント	展示時間
4月15日 (日)	12:00~17:00 18:00~20:00	受付・登録 レセプション	12:00~16:30
4月16日 (月)	8:30~ 9:00 9:00~15:00 19:00~22:00	受付・登録 講演会(ルームA) 晩餐会	9:00~16:30
4月17日 (火)	8:30~ 9:00 9:00~16:00	受付・登録 講演会(ルームA&B)	9:00~15:00
4月18日 (水)	終日	工場見学: 3コース	

イベント

講演会

精密鑄造品エンドユーザー、メーカー、サプライヤーに渡る多彩なテーマ。講演数37

最新学術研究の パネル展示

展示会

(参加ブース数95)

日本の代表的 精密鑄造工場見学 (3コース)

展示会場・パネル展示会場への入場は無料です。

参加申込はこちら ➡ <http://www.foundry.jp/wcic/index.html>

お問い合わせ先 社団法人日本鑄造協会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 501 号
TEL.03-3432-2991 FAX.03-3433-7498 Email wcic2012@foundry.jp

古くて新しい鑄物

第13回 世界精密鑄造会議

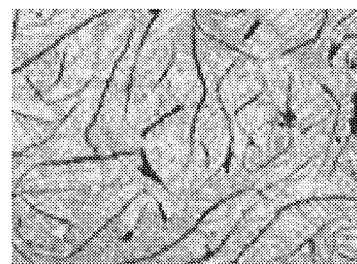
アジアからの革新

2012年4月15日(日)~18日(水)
京都市 国立京都国際会館

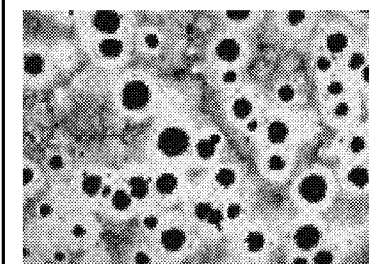
欧州においては、ドイツが日本同様の自動車大國を反映して日本と同程度の生産量400万台を維持している。今や中国、インドの2力國で世界の生産量の5割を占めるに至ったが、アメリカ、日本、ドイツのような先進國でも製造業の基盤を支える産業として世

図4. 鋇鉄鑄物の特徴

鑄物の中で最も多く生産されているのが鋇鉄鑄物である。この鋇鉄鑄物を材質でみると、ねずみ鋇鉄とダクタイル鋇鉄(JIS=球状黒鉛鋇鉄)が主流である。特に、ダクタイル鋇鉄は鋼に近い強さを鑄物にもたらしたという点で、鉄鋼における20世紀最大の發明といわれている。



▲ねずみ鋇鉄



▲ダクタイル鋇鉄

界においても上位の生産を維持しているのが鑄物産業の特徴といえる。近年、鑄物産業にとってエネルギー問題が大きな課題となっている。金属原材料の溶解は、かつ

てのコークスを用いるキユボラ溶解から、CO₂排出削減等の環境問題に積極的に対応するため、近年は電気炉溶解が主流となっており、今や鑄物産業は電力多消費型

産業といえる。

このため、今夏の東京電力、東北電力管内で実施された15%電力節減に対応するために、土・日操業、深夜操業さらにグループ内での輪番操業を実施するなど積極的節電に協力している。

精密鑄造品は、航空・宇宙、エネルギー分野にとつて必要不可欠な製品を供給している。この精密鑄造品に関する国際会議、第13回世界精密鑄造会議が12年4月に京都国際会議場で開催される。この世界精密鑄造会議は4年ごとに開催されているもので、アジアでの開催は今回が初めてであり、メーカー、サプライヤーのみならずエンドユーザーも交えた最新の技術動向に関する講演や展示会が開催されるため、欧米のみならずアジアからの多数の参加者が期待されている。

来春、京都で世界精密鑄造会議